

ニュースリリース

ビレッジハウス・マネジメント株式会社

2026年5月13日

きれいで暮らしやすい環境づくりを目指して 「知らない」 から「できる」 へ 外国人入居者と学ぶ“地域のごみ分別”イベントを開催

4月18日、三重県伊賀市「ビレッジハウス上野服部第二」でベトナム人など64人が参加

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、2026年4月18日（土）に三重県伊賀市の「ビレッジハウス上野服部第二」で「団地 de クリーン day～見て・やって学ぶ ごみの分別～」と題した、地域のごみ分別ルールを学ぶイベントを行いました。

本イベントは、日本独自のごみ分別ルールが外国人入居者にとって分かりにくいという課題を受け、きれいで暮らしやすい環境づくりの一環としてごみ分別への理解促進とマナー向上を図ることを目的に『『知らない』から『できる』へ』をテーマに企画しました。「ビレッジハウス上野服部・上野服部第二」に暮らすベトナム人など64人が参加し、講義やクイズを通して分別ルールを学び、実際にごみの分別を体験しました。



伊賀市のごみ袋を使った分別ルールに、熱心に耳を傾ける参加者たち

当日は、伊賀市指定のごみ袋を用いた分別ルールの解説、分別ルールを確認できるアプリ紹介、廃油の処理方法の実演に加え、クイズ形式で分別のポイントを分かりやすく解説しました。楽しみながら学べるコンテンツを実施したことで、ごみ分別への理解がより深まりました。その後、各物件のごみステーションで多言語の看板などを確認、ごみ出しの時間や利用ルールを改めてお知らせし、正しいごみ分別実践のきっかけづくりを図りました。イベント終了後は、キッチンカーでバインミーやフォーを提供し、食後は早速、それぞれのごみを正しく分別しました。

「ビレッジハウス上野服部・上野服部第二」は、入居者の半数以上が外国人で、講義などを通じて母国語で情報提供を行い、正しいごみ分別方法への理解促進と入居者間の交流を図ることで、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、本イベントを実施いたしました。



多言語で表示されたごみステーション（左）、分別にチャレンジする参加者（右）

参加者からは、改めてごみ分別の説明を受けて新たな学びがあったことが伺えました。

- ・ 「今までごみの細かい分別方法が分からなかったが、今回のイベントに参加したことで、正しい分別の仕方を理解することができた。」（ベトナム人・男性）
- ・ 「日本人にとっては当たり前のごみ出しルールも、今回初めて知ることがあった。新しく入居した方や外国人の方はルールが分からないことも多いため、このようなイベントを通じて分かりやすく伝えられる、とても良い取り組みだと思う。」（日本人・女性）

ビレッジハウスでは、日本で暮らす外国人入居者に安心安全に過ごしてほしいとの思いから、生活に必要な情報を学べる機会として、防災イベントや多文化共生を目指したコミュニティイベントを実施しています。ごみの分別をテーマにしたイベントは2026年3月の愛知県碧南市、同年4月の岐阜県可児市に続く3回目の開催で、今後も全国の管理物件へと広げる予定です。外国人入居者の皆さまが地域社会の一員として安心して暮らせる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

■開催概要 「団地 de クリーン day ～見て・やって学ぶ ごみの分別～」

日時：	2026年4月18日（土） 11:00～14:00
実施場所：	ビレッジハウス上野服部第二（三重県伊賀市服部町2-21）
参加者：	ビレッジハウス上野服部・上野服部第二に居住するベトナム人など64人
物件情報：	「ビレッジハウス上野服部」 2棟80戸で構成され、76戸約90人が居住、そのうち約82%が外国人 「ビレッジハウス上野服部第二」 2棟80戸で構成され、69戸約120人が居住、そのうち約68%が外国人
内容：	① ごみ分別ルールの解説 ② ごみ分別クイズ、廃油処理の実演 ③ キッチンカーで楽しくランチ
主催：	ビレッジハウス・マネジメント株式会社

ビレッジハウス・マネジメント株式会社について

ビレッジハウス・マネジメント株式会社は、全国 47 都道府県で 1,064 物件（2,960 棟、108,409 戸）^{※1}の賃貸住宅「ビレッジハウス」を運営、管理する国内最大級の賃貸住宅サービス会社です。独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が雇用促進住宅を民間に売却した際に、フォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供を開始しました。住宅を建て替えるのではなく、既存の建物を有効活用、長く使用することで低賃料を実現し、民間会社で唯一、大規模にアフォーダブル住宅^{※2}を提供しています。簡単な事務手続きで、あらゆる世代の単身者、ファミリーの他、外国人や法人の社宅としてもご利用いただけるよう、今後も継続的な供給を維持しながら、よりよい日本の住宅環境を築くことを目指します。

※1 2026 年 4 月 1 日時点の戸数

※2 誰もが生活の質を保ち、手頃な家賃で安心して長く住み続けられる住宅

2026 年 4 月 1 日現在、1,071 名の従業員を擁し、東京本社に加え全国 7 支社を展開、入居にかかる募集から受付、審査、物件管理まで自社一貫のサポート体制を整え、法人向けサービスの拡充にも取り組んでいます。また、多言語対応の強化や 535 名の住宅担当者による物件の巡回で、入居後も安心してお住まいいただけるよう住宅環境の整備も行っています。

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社

<https://www.villagehouse.jp/>

本 社：東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー44 階

設 立：2016 年 12 月 21 日

本件に関するお問い合わせ

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社 事業戦略グループ 広報部

E-mail：vhm-PR@villagehouse.jp

■ビレッジハウス・マネジメント広報担当 株式会社エイレックス / 山本・今井

Tel：03-3560-1289 Fax：03-3560-1290 E-mail：vhm-pr@arex-corp.com